



上/ネジキの冬芽
右/ウメの花
左/いきふれセンターの代表種 コゲラ



冬の楽しみ

～春夏秋冬それぞれに楽しみが～

令和2年がスタートしました。

西暦2020年。オリンピックイヤー。千支は庚子（かのえね）、子年は十二支の最初という事もあり新たなスタートへの期待が膨らみます。十支は植物の循環を表しているといわれ、子年は種子から新しい命が芽生え始める状態とされます。土の中には植物の種や球根以外にも様々な命が息づいています。葉を落とした木々の枝先には個性豊かな冬芽たち。カマキリの

卵も見つかります。コゲラがカマキリの卵をつついている姿を目にすることも。巣を張らないクモも生きています。落ち葉の下で冬を越しているチョウの幼虫もいます。やがて梅や椿が咲き始め、時には霜や雪で薄化粧をすることも。冬は空気が澄み明るい星も多く夜空を楽しむのにも良い季節です。3月になってもお馴染みのオリオン座やスバルなどが見やすい時期は続いています。野鳥観察に最適な季節なのはもちろんです。秋に渡ってきた水鳥たちはペアが目立つようになり3月には北上を始めるものもいます。12月に一番早い日没となった後は少しづつ日が伸びています。春分の日を過ぎ下旬には狭山丘陵では午後6時に日没となります。このころにはもう早春の景色となっていくことでしょう。このように考えてみると意外と冬を楽しめる時期は短いものかもしれません。枕草子では冬は早朝が最も良いと記されています。元旦では7時を過ぎたころという事になります。そして春はあけぼの…となると3月20日の春分の日でいえば5時30分を過ぎた頃でしょうか。復活した太陽の下様々なものが始まりの時を迎えるころとなりました。

その他のおすすめ

双眼鏡の無料貸出
センター窓口にて受付
※詳しくは、センターまで
ガイドウォーク実施中
毎月第一土・日 13:30～ 無料

Facebook 随時情報更新



サネカズラ
画 堅香子の会

お知らせ
お願い

解説看板の修繕を行います。

- ・水鳥の楽園 (SP1)
- ・湿生植物の里 (SP3)
- ・蝶の森 (SP5)



工事期間中は一部ご利用頂けない場合がございます。ご協力をお願いいたします。

利用者アンケートについて。

当センターでは、施設利用に関するアンケート調査を実施しています。

ご協力をお願いいたします。

狭山丘陵

出前講座を
ご利用下さい。



狭山丘陵の動物や植物のことを多くの方に知って頂きたいと思い企画しております。